仮定法過去の導入『もしも、なれたら？』授業案（3つの文で動物とふしぎな力を当て、If I were you でI年生へのひと言カードを書く）

英語教材ラボ

仮定法を「過去形なのに今のこと」という説明から始めると、形の暗記で止まりがちです。この授業案は、先生が動物やふしぎな力に「なったつもり」で話すクイズで形に耳から慣れ、悩みへのアドバイスとI年生へのひと言カードで使います。

この教材で解決できる悩み

- 「今のことなのに過去形」の説明から入ると、形の暗記で終わる
- If I am you, I will ～.（現在形のまま）、If I were you, I would to ～.（would のあとに to）が出る
- 仮定法を使う場面が、教科書の本文の外に見つからない

教材の概要

項目	内容
対象	中学3年（NEW CROWN 3 Lesson 7。SUNSHINE 3 PROGRAM 7／Here We Go! 3 Unit 7／NEW HORIZON 3 Unit 6／BLUE SKY 3 Unit 6／ONE WORLD 3 Lesson 5・Project 2 でも）
文法項目	仮定法過去（If＋主語＋過去形, 主語＋would／could＋動詞の原形）と If I were you, I would ～.
形式	授業案A4（もしもクイズ6問・悩みカードの一覧・聞き合いの表つき）
所要時間	50分×Iコマ
準備物	印刷のみ（投影版はプロジェクタ）・悩みカード（I人I枚・下の一覧を切る）・聞き合いの表（I人I枚）・小さなカード（I人I枚）

授業の流れ（50分）

導入：もしもクイズ（I2分）

「先生が、動物やふしぎな力になったつもりで3つ言います。3つ目まで聞いてから、札に手を挙げてください」と告げます。札を4つ並べ（投影版は画面の下・紙なら黒板）、3文をI文ずつ読みます（Iつ目と2つ目でIつずつ消え、3つ目で決まる）。答えのたびに3つ目の文を板書し、消さずに残します。stripes（しま）・power（力）・lift（持ち上げる）・secret（秘密）は、言う前に板書します。

動物の3問（Which animal?）

- Q1. If I were this animal, I couldn't fly.／If I were this animal, I would swim every day.／If I were this animal, I would walk on the ice. 札：ワシ／ペンギン〇／ウサギ／イルカ
- Q2. If I were this animal, I wouldn't eat meat.／If I were this animal, I couldn't jump high.／If I were this animal, I would have a very long neck. 札：ゾウ／ライオン／カンガルー／キリン〇
- Q3. If I were this animal, I wouldn't have stripes.／If I were this animal, I wouldn't eat bananas.／If I were this animal, I would be black and white. 札：パンダ〇／サル／シマウマ／コアラ

ふしぎな力の3問（Which power?）

- Q4. If I had this power, I still couldn't fly.／If I had this power, people could still see me.／If I had this power, I could understand the birds in the park. 札：空を飛ぶ力／体が大きくなる力／動物の言葉がわかる力〇／姿を消す力
- Q5. If I had this power, I still couldn't see the future.／If I had this power, I still couldn't lift a car.／If I had this power, I could get to school in one second. 札：未来が見える力／力持ちになる力／何でも覚えられる力／一瞬で移動する力〇
- Q6. If I had this power, I still couldn't stop the rain.／If I had this power, I still wouldn't know other people's secrets.／If I had this power, I could talk with people all over the world. 札：雨をやませる力／どんな言葉も話せる力〇／心が読める力／水の中で息ができる力

気づき：本当ではないことを言う形（6分）

板書から2文を選び、本当のことと並べます。

- If I were this animal, I would walk on the ice.―先生は今ペンギン？（No.）I am not a penguin. 今の話なのに were と would
- If I had this power, I could get to school in one second.―I don't have this power. 今の話なのに had と could

決まりを2行で板書します。「本当ではないことを『もし～なら』と言うときは、If＋主語＋過去形，主語＋would／could＋動詞の原形」「be動詞は、主語が I でも were を使う」。would のあとに to を入れないことも、ここで1回だけ確かめます。

始めの一言と聞き合い：先輩、どうしたらいい？（16分）

先生が困った顔で、こう始めます。

”I have a problem. I always forget my umbrella on rainy days. If you were me, what would you do?”

2～3人に答えてもらい、If I were you, I would put it by the door. のような答えを板書します。答えのあとに先生が That's a good idea. Thank you! と返すところまでを見せます。

悩みカード（下の一覧）を1人1枚配ります。生徒は1年生になったつもりで、カードの悩みを3人に聞きます。A が I have a problem. I can't remember new English words. What would you do? と言い、B が If I were you, I would write them on small cards. と答えます。A は Good idea. Thank you. と返し、もらったアドバイスを聞き合いの表に書きます。次は B が自分のカードの悩みを聞きます。3人に聞いたら、いちばんためしたいアドバイスに〇をつけて席に戻ります（10分）。最後に全体で Which advice would you try? と問い、2～3人に選んだアドバイスを言ってもらいます。

机間で見るのは、If I am you, I will ～.（現在形のまま）と I would to ～（would のあとに to）。1年生の役で話すので、自分や友だちの悩みとして話さなくて済みます。

出口：1年生へのひと言カード（12分）

形を板書します（Do you ～?／If I were you, I would ～.／It helped me in my first year. など、理由の1文）。生徒は一覧の悩みから、1年生が持っていそうなものを1つ選び、小さなカードに3文を書きます。書けた生徒は、もう1文足します（例：You can do it!）。名前は書かず、「3年生より」とだけ書きます。1年生はまだ習っていない形なので、カードのいちばん下にやさしい日本語を1行添えます（例：わたしなら、単語を小さなカードに書くよ）。

本物にする一手は、読む相手を1年生にすることです。1年の英語の先生と相談し、先生が全部読んでから、1年の教室の前に「先輩からのひと言」として貼ります。1年生が自分に合うカードを1枚選んで持ち帰る形にしてもかまいません。

まとめ（4分）

板書の決まり2行を全員で読み、カードを1枚だけ読み上げて終わります。

定着・受験への接続

入試の英作文の「もしあなたが～なら、どうしますか」の問いと、友だちへのアドバイスを書く問いにつながります。次の時間は I wish の導入（『パーティー、来る？ 来ない？』）。話す活動は『もしも別の世界に住めたら』、紙の練習は定着ドリルと10分小テストへ。

投影版パワーポイント（Premium）

導入のクイズ6問のパワーポイント（全27枚・話者ノートつき）。Premiumのファイルです。

悩みカード（1人1枚・切って使う）

悩み（英語）	日本語
I can't remember new English words.	新しい英単語がなかなか覚えられない
I get nervous before a speech.	スピーチの前に緊張する
I don't know what to study first for tests.	テスト勉強を何から始めればいいかわからない
I often forget my homework.	宿題をよく忘れる
I want to talk with our ALT, but I'm shy.	ALTと話したいけど、恥ずかしい
I have club activities every day, so I'm busy.	部活が毎日あって、忙しい

聞き合いの表（配る紙）

わたしの悩み（カード）：

	もらったアドバイス（If I were you, I would ～.）	ためしたい（○）
1人目		
2人目		
3人目		

学校・授業での利用は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）